

2020年東京オリンピックピックを目指して

多久高校登山部 クライミング班

見上げるほどの高い壁をグイグイ登っていく
多久高校登山部クライミング班のみなさん。校
内に設置されたウォールは高さ 12m× 幅 8 mの
人工壁で、県内で最大級の規模を誇ります。

多久高校に巨大な壁があるのを「存じですか。これは「クライミングウォール」と呼ばれる人工の壁で、その高さは12m。手や足をかけるホールドと呼ばれる突起があります。多久高校にウォールが設置されたのは平成14年。当時、佐賀県にはスポーツクライミング競技を行える壁がありませんでした。そこで当時の校長先生が「多久工業高等学校から総合学科の多久高等学校へ変わる目玉」としてクライミングウォールを「構想」されたとのこと。

多久高校にはJOC(全国ジュニアオリンピックカップ)の年齢別カテゴリーで優勝し、海外の大会へチャレンジするつもと 鶴本直生なほきさんなど、活躍が期待できる選手も多く在籍。

ひとつひとつ、夢へと登っていく多久高校クライミング班に今後も注目です。



4

3年

岸川弓子さん

(岩手国体出場 / 4年連続)

ずっと力を入れたままではなく、力を抜くところは抜いて、登りにメリハリをつけるのが今後の課題です。10月に開催される国体で優勝を目指します。



3年

渡島奈緒さん

大会では応援の声がかっこいいですし、その声がかっこいいです。12月に行われる全国高等学校選抜クライミング選手権大会で3位以内を目標にしています。



1年

荒谷 響さん

ホールドが小さいと難しいですが、登りきったときはうれしいです！今後の目標としては10月の試合で自分の力が出せるように練習していきます。



初

多久東部校中学部3年

樋口結花さん

(岩手国体出場 / 初出場)

持久力と小さいホールドを持つのが得意なので、そこを發揮したいです。初の国体は緊張しますが、いつも練習している岸川さんと一緒なので安心です。決勝出場を目指して頑張ります。



1年

西村 光さん

クライミングは夢中で登れるところがおもしろいです！多久高校のウォールには難度が高いコースがあるので、早くそのコースを登れるようになりたい。



1年

崎村直大さん

多久高校に入学してからクライミングを始めました。樋口先生のやさしい指導のもと練習しています。10月に高等選抜の予選に向けてがんばります。

